

令和4年度東京都高齢者権利擁護推進事業
「施設内リーダー職員研修(看護実務者研修)」募集要項

お申込み前に、本紙に記載の事項をすべてお目通しいただき、御了解の上でお願いいたします。
お申込みから研修当日までの流れは、6ページの「15」をご覧ください。

1 研修目的

本研修は、介護施設等において、高齢者が尊厳を保持し、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう支援し、権利擁護に必要な援助等を行うために介護施設等の看護職に求められる実践的な知識・技術等の習得を目的とし実施します（講義及びグループワーク等）。また、地域包括ケアにおける高齢者の権利擁護のために必要な援助等を実践できる視点も加味して行います。

2 研修実施機関

公益財団法人東京都福祉保健財団 人材養成部福祉人材養成室（高齢者権利擁護支援センター）
※東京都福祉保健局高齢社会対策部より委託を受けて実施します。

3 対象者

介護老人福祉施設（地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護含む）または介護老人保健施設の現場において、実際に保健医療サービス及び福祉サービスを提供している看護職員。

※看護師及び准看護師以外の方は、受講できませんので御注意ください。

※平成20年度から令和3年度において本研修を受講され、「修了証書」が交付されている方は、お申込みできません。現在の所属施設とは異なる施設の所属時に受講し、修了証書が交付されている方は、対象になりません。

※インターネットを活用したオンライン研修となるため、オンライン講義の視聴環境は、推薦する事業者が責任をもって確保の上お申し込みください。なお「オンライン研修受講で推奨するシステム要件」については、7～8ページを御参照ください。

4 研修日程及び募集定員等

3日間の日程で2コース実施します。

各コース、1日目及び3日目の研修時間は10時00分から16時30分（予定）です。

研修日程			定員	開催方法
A コース	1 日目	令和5年1月18日（水曜日）	60 名	Zoom によるオンライン（ライブ配信）
	2 日目	1 日目受講後～3 日目受講まで*		講義動画配信（YouTube 限定公開）
	3 日目	令和5年2月3日（金曜日）		Zoom によるオンライン（ライブ配信）
B コース	1 日目	令和5年2月1日（水曜日）	60 名	Zoom によるオンライン（ライブ配信）
	2 日目	1 日目受講後～3 日目受講まで*		講義動画配信（YouTube 限定公開）
	3 日目	令和5年2月16日（木曜日）		Zoom によるオンライン（ライブ配信）

5 受講料

無料

6 申込人数

原則、1施設1名でお願いします。

7 「事前課題」及び「リフレクションシート」について

①「事前課題」について

下記「8 カリキュラム」を実施する上で、研修の実施前に課題を提出していただきます。

「自施設での権利擁護、高齢者虐待の防止への取組み」に関する内容を予定しております。課題の詳細は、受講決定の際に御案内いたします。

②「リフレクションシート」について

2日目のカリキュラムは、講義動画配信（YouTube 限定公開）により実施します。聴講後、科目で学んだことや気づき等について御記入いただき、3日目受講前の提出期日までに御提出いただきます。2日目の受講確認は、この「リフレクションシート」の提出により行います。提出方法等の詳細は、受講決定の際に御案内いたします。

8 カリキュラム（予定） 各項目は、若干の変更となる場合があります。

【1日目】Zoomによるオンライン（ライブ配信）

Aコース：1月18日（水曜日） Bコース：2月1日（水曜日） 10時～16時30分（予定）

時間	形態	科目	内容等	講師（敬称略）
90分	講義	【科目1】 高齢者の権利擁護 （高齢者虐待、成年 後見制度活用 等）	・ 高齢者の権利擁護の概論 ・ 高齢者を取り巻く社会環境と高齢者虐待の実態 ・ 高齢者虐待の具体例 ・ 身体拘束の廃止に向けた取組み ・ 意思決定支援 等	（公財）東京都福祉保健財団 高齢者権利擁護支援センター
60分	演習	【科目2】 施設内での高齢者虐待防止、権利擁護の取組み	・ 「事前課題」の内容をグループ内で共有 ・ 受講者同士の質問をとおした気づき ・ 「困っていること」等に対して、権利擁護の視点をもってどのように向き合い、取組むかを考えることをとおして、施設看護職に求められている役割を再認識する	〈看護指導者養成研修修了者〉
120分	講義	【科目3】 「生活の場」で提供される看護の特徴と急変時における権利擁護のあり方	・ 「生活の場」としての施設での看護職の位置づけ ・ 医師のいない場での看護職の役割 ・ 急変時の対応の基本 ・ 看取り看護の基本 ・ 医療行為の基本 ・ 権利擁護としての看護職の役割 等	〈看護指導者養成研修修了者〉

【2日目】講義動画配信（YouTube 限定公開による聴講）

各コース1日目終了後から3日目受講までの期間に各自聴講し、「リフレクションシート」を記入します。
（期日までに提出。詳細は募集要項「7 「事前課題」及び「リフレクションシート」について」を参照）

時間	形態	科目	内 容 等	講 師（敬称略）
75 分	講義	【科目4】 介護保険制度と看護 職員の役割	・ 介護保険制度と地域包括ケアシステム の基本的な理解 ・ 施設における看護職の位置づけ 等	厚生労働省老健局高齢者支援課 主査 尾川 春香
各 90 分	講義	【科目5】 高齢者の心身の理 解、認知症高齢者の 理解と看護	・ 高齢者の心身の特徴とフィジカルアセ スメント（気づきと観察） ・ 認知症の医学的・心理的理解 ・ 認知症の人の生活のアセスメントと認 知症ケア ・ 認知症の人の家族の理解と支援 等	医療法人社団 慶成会 青梅慶友病院 看護部長代行 桑田 美代子
	講義	【科目6】 リスクマネジメント と権利擁護	・ 権利擁護の観点からみた介護事故防止 の考え方 ・ 事故につながる不適切なケアと防止 ・ 事故防止のための体制整備 ・ 介護事故発生時の対応 等	株式会社 フォーサイトコンサルティング 代表取締役社長 浅野 睦
	講義	【科目7】 生活の場での看取り ①～グリーフケア・ セルフケア～	・ 看取り期における家族支援 ・ グリーフケア、セルフケアに関する基本 的知識の習得 ・ デスカンファレンス 等	がん研有明病院 腫瘍精神科 公認心理師/臨床心理士 厚坊 浩史

【3日目】Zoomによるオンライン（ライブ配信）

Aコース：2月3日（金曜日） Bコース：2月16日（木曜日） 10時～16時30分（予定）

時間割	形態	科目	内 容 等	講 師（敬称略）
100 分	講義 及び 情 報 交 換	【科目8】 権利擁護の視点から 考える感染症対策 （体制整備、発生時 の対応の基本）	・ 感染症対策として必要な体制整備、発生 時の対応等の基本 ・ 「生活の場」での感染症対策に関する事例 をとおした、感染症対策における権利擁 護実践への理解 等	〈看護指導者養成研修修了者〉
90 分	講義	【科目9】 生活の場での看取り ②～本人中心のチー ムケア推進に向けて ～	・ 本人意思の確認の在り方（ACP, 意思決定 支援等） ・ 看取り期における家族支援、多職種協働 による看取りケア ・ 生体の死への変化 ・ 環境を整えていく視点 等	〈看護指導者養成研修修了者〉
100 分	演習	【科目10】 権利擁護に必要なケ ア、体制づくり	・ 3日間の総合演習 ・ 自施設における高齢者虐待防止に向け、 看護職として主体的に関わるために必要 なことは何かを探る ・ 「事前課題」で課題把握された内容を、実 務につなげるための整理と準備 等	（公財）東京都福祉保健財団 高齢者権利擁護支援センター

9 申込締切

令和4年12月13日（火曜日）

10 修了証書について

受講修了者には、「修了証書」（東京都知事名）を交付します。

但し、「事前課題」及び「リフレクションシート」に提出かつ Zoom によるオンライン研修の出席時間 4/5 以上が交付要件となります。

11 個人情報の取扱いについて

受講者推薦及び申込書に記載された個人情報については、当財団個人情報の保護に関する要綱に基づき適正管理を行い、当該研修業務管理以外の目的で利用することはありません。

12 受講者の決定について（申込み結果について）

12月下旬(予定)に「申込みの結果」についてメールにて通知いたします。受講決定者につきましては、研修予約システムのマイページから「受講決定通知兼受講票」及び「受講の手引き」等をダウンロードしていただきます。

なお、申込者数が定員を上回った場合は、受講できない可能性があります。予め御了承ください。

13 その他

- (1) その他、詳細につきましては、受講決定時に御案内する書類を御確認ください。
- (2) 受講者の方の受講環境やインターネット環境、機器（パソコン等）の不具合等による研修受講への影響につきましては、当財団では責任を負いかねますので、予め御了承ください。

14 受講申込み方法

オンライン（研修予約システム）でのお申込みとなります。以下の手順でお申込みください。

①東京都福祉保健財団ホームページ

ホーム>「研修を受講される方へ」→「研修・セミナー」→「高齢者権利擁護推進事業」
→「4 施設内リーダー職員研修（看護実務者研修）」

URL (https://www.fukushizaidan.jp/105kenriyogo/sisetsu_kango/)

②「②申込専用ページ」→「保護ページ」→パスワードを入力→「研修予約システム」

※封書でお送りしている「開催通知」で御案内の「申込専用ページアクセス用パスワード」を入力

③「研修予約システム」にて申込 →「申込受付完了メール」（自動送信）を受信

※お申込み直後に御登録されたメールアドレスへ「申込受付完了メール」が届かない場合、お申込が正しく完了されていない可能性があります。御注意ください。

【重要】「申込受付完了メール」（自動送信）の受信確認および保存をお願いします
受付完了メールに記載の URL から、お申込内容の確認や変更が可能です(申込締切日まで)。
事前課題やリフレクションシートの提出に必要なメールのため、必ず保存してください。

4 施設内リーダー職員研修（看護実務者研修）

①財団ホームページ掲載ページ

介護施設等において、実際に権利擁護の取り組みを担当する看護職員（看護主任等）を対象に、医療的な観点から身体拘束廃止の取り組みを行うために実践的な知識・技術を習得させるための研修を実施します。

【以下の研修は、東京都内の介護施設等に従事する看護職員が対象です。】

【研修申込を開始しました】 New 申込締切：令和4年12月13日（火曜日）

対象施設（介護老人福祉施設・介護老人保健施設）へ開催通知を郵送しました。下記の研修日程表内「申込はこちら」から「①募集要項」をダウンロードしてください。募集内容をご確認の上「②申込専用ページ」をクリックして、お申込みください（※「申込専用ページ」へ入るには、「開催通知」でご案内のパスワードが必要です）。

施設内リーダー職員研修（看護実務者研修）

施設内リーダー職員研修（看護実務者研修） 3日間×年2回

	開催日程	定員	実施方法	申込はこちら
Aコース	令和5年1月18日（水）～ 2月3日（金）（3日間）	60名	オンライン（講義・動画視聴とライブ配信）	①募集要項 ②申込専用ページ
Bコース	令和5年2月1日（水）～ 2月16日（木）（3日間）	60名	オンライン（講義・動画視聴とライブ配信）	①募集要項 ②申込専用ページ

※本研修は「事前課題」等、研修課題の提出があります。お申込前に必ず「募集要項」をよくお読みの上お申込みください

※各コース同じ内容で実施します。

《留意事項》

※申込完了後「申込受付完了メール」が自動送信されます。この時点では、受講が確定したわけではありませんので御注意ください。

※誤ったアドレスを登録されるとメールが届きませんので、入力時に十分御注意ください。
申込後の各種御連絡（申込結果通知や受講決定後の動画視聴案内等）はすべてメール送信により行いますので、受信制限をされている方は「@fukushizaidan.jp」の受信許可設定をしてください。

※受信メールサーバーの容量がいっぱいとなり、受信ができない場合があります。お使いになるメールの受信サーバーの容量に余裕があるか事前に御確認をお願いします。

※お申込締切期間内であれば、申込後は研修予約システムの「マイページ」（申込受付後自動送信される「申込受付完了メール」内URLの案内あり）で各自申込内容の変更は可能です。申込締切以降は御自身での変更ができなくなりますので、その場合は研修事務局まで御連絡をお願いいたします。

申込締切：12月13日（火曜日）

高齢者権利擁護推進事業

保護中：保護中：権利擁護テーマ別実践研修（第2回）『動画視聴専用ページ』

保護中：保護中：介護サービス事業管理者等高齢者権利擁護研修『動画視聴専用ページ』

(1)養護者による高齢者虐待対応研修（基礎研修）

(2)養護者による高齢者虐待対応研修（応用研修）

(3)権利擁護テーマ別実践研修

(4)養介護施設従事者等による高齢者虐待対応研修

3 介護サービス事業管理者等高

②「申込専用ページ」から
③「研修予約システム」へ

申込専用ページ』

保護中：施設居住系サービス事業所管理者等高齢者権利擁護研修「高齢者虐待防止研修」『申込専用ページ』

4 施設内リーダー職員研修（看護実務者研修）

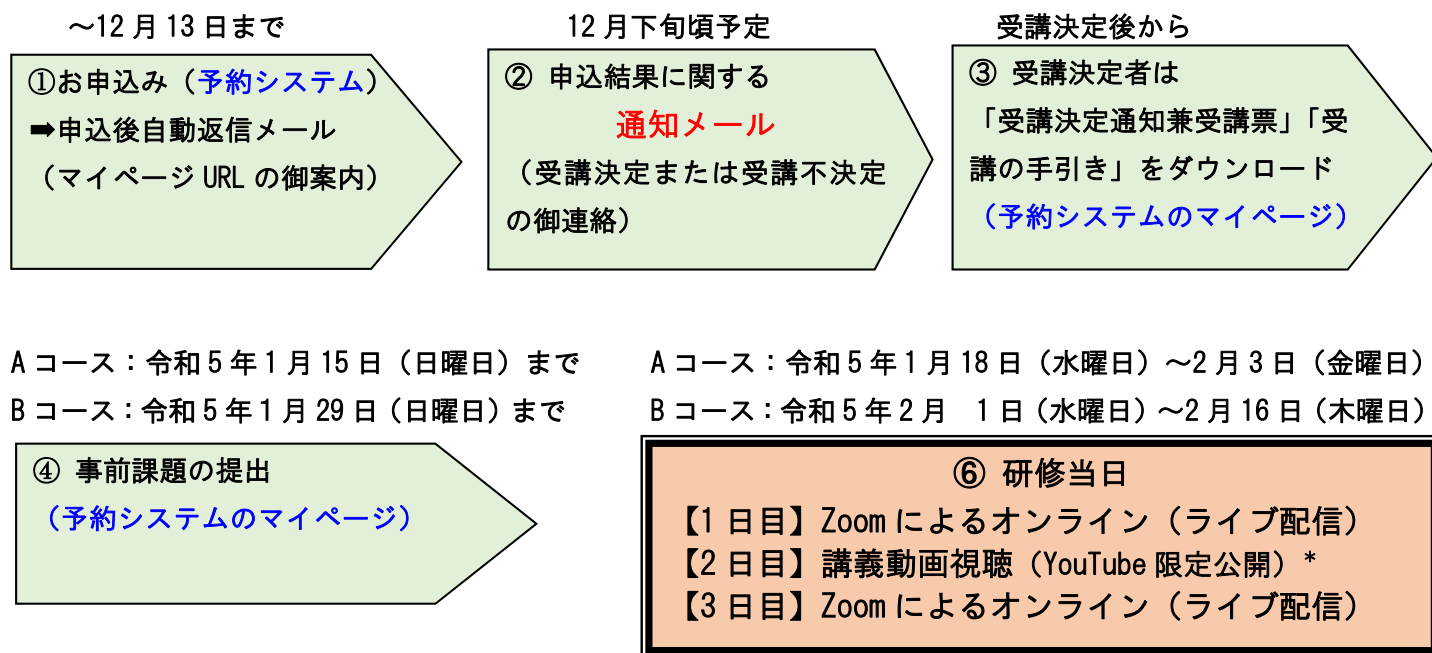
(3)「研修予約システム」入力時の留意事項等

- ① 同一内容で2コース(Aコース・Bコース)で実施いたします。「詳細」ボタンを選択して、「研修の申込み | 詳細内容」ページ→各日程(施設内リーダー職員研修(看護実務者研修)〔Aコース〕もしくは〔Bコース〕のいずれか一方)の「受講申込み」を選択して「研修の申込み」入力画面に進んでください。
- ② 各コース定員を超えると人数を調整する場合があります。申込事項に「他コースへの振替の可否」について確認する事項があります。人数調整必要時に予定される他コースへの振替者を検討する際「他コースへの振替可能」と回答された方は振替に御協力をいただく場合があります。
※「振替不可」の場合も必ず希望通りの日程で決定するという保証はありません。予め御了承ください。
- ③ 「生年月日」につきましては、「修了証書」発行の際に必要となります。毎年、生年月日の記載間違いが発生しておりますので、担当者が申込む場合は、必ず申込希望者(受講者)に確認の上、入力をお願いいたします。
- ④ 1回のお申込みで複数分のお申込はできません。同一施設から複数のお申込みを希望する場合は、人数分の予約システムへのお申込をお願いします。なお、定員を超過した場合、人数調整を行う可能性があります。そのため、それぞれのお申込みの「団体からの連絡事項欄」に受講優先順位番号の御記入をお願いします。
- ⑤ 「整理番号」は、封書でお送りしている「開催通知」左上の宛先部分に記載しております。

15 お申込みから研修当日までの流れ

* 申込受付から申込結果通知、ZOOMのURLのお知らせ等一連の手続きは、「申込受付システム」に御登録されたメールアドレスへ送信されます。封書・FAXによる申込み及び結果等連絡は行いませんので御留意ください。

お申込みから研修当日までの大まかな流れを以下お示しします。連絡時期等を参考にしてください、メールの御確認をお願いいたします。



*2日目受講確認「リフレクションシート」の提出は、予約システムのマイページからの提出を予定

《お問い合わせ先》

公益財団法人東京都福祉保健財団 人材養成部福祉人材養成室 高齢者権利擁護支援センター(研修担当)
電話番号：03-3344-8628 FAX番号：03-3344-8593
研修申込専用メールアドレス：ks-ns-moushikomi@fukushizaidan.jp

オンライン受講で推奨するシステム要件

オンライン研修は、「Zoom」を使用して実施します。具体的な受講手順については、講義開催前にオンライン視聴ガイドをお送りしますので、そちらをご覧ください。

オンライン講義の視聴環境は、受講者が責任をもって確保の上、お申込みください。

なお、同一施設で複数の受講者が同時に受講する場合、原則として 1 人 1 端末御用意ください。

《オンライン講義受講で推奨するシステム要件》

1 システム要件

【必須環境】

- インターネット接続：有線または無線ブロードバンド（3G 以降/LTE）
- スピーカーとマイクー内蔵、USB プラグイン、またはワイヤレス Bluetooth
- ウェブカメラまたは HD ウェブカメラー内蔵または USB プラグイン
- 受講の際にはカメラ機能・マイク機能をご用意ください。

2 サポートされるオペレーティングシステム（OS）等

MacOS 10.9 以降を搭載の Mac OS X

Windows 8（8.1）またはそれ以降

Ubuntu 12.04 またはそれ以降

Mint 17.1 またはそれ以降

Red Hat Enterprise Linux 6.4 またはそれ以降 他

- 受講の際には、受講者ごとにパソコンをご用意ください。
- タブレット・スマートフォンでも参加は可能ですが、処理能力が劣り研修受講に支障が出ますので、お避け下さい。パソコン以外のデバイス（端末）で受講される場合は不具合のお問合せは対応できません。

3 サポートされるブラウザ

- Windows：Firefox、Chrome、Edge
- Mac：Safari、Firefox、Chrome
- Linux：Firefox、Chrome

【補足】

- Windows Edge を経由した視聴の場合、画像・音声の一部が制限される場合があります。
- Internet Explorer では一部機能がサポートされていないのでお避け下さい。

- サポートされるブラウザの最新バージョンでご参加ください。旧バージョンで参加した場合、機能の一部が制限される場合があります。

4 プロセッサおよび RAM の要件

最低		推奨
プロセッサ	シングルコア 1Ghz 以上	デュアルコア 2Ghz 以上 (i3/i5/i7 または AMD 相当)
R A M	該当なし	8Gb 以上

注意 : Linux は、OpenGL 2.0 以上をサポートできるプロセッサまたはグラフィック
スカード必要とします。

ノートパソコンの場合は、クアッドコア以上のプロセッサを推奨します。

【参考】CPU と RAM の確認方法

Windows の場合 : スタートボタン (Windows マーク) > 設定 > システム
> バージョン情報 で確認できます。

Mac の場合 : アップルマーク > この Mac について > 概要 で確認できます。

5 帯域幅・通信量の目安

オンライン研修で使用する帯域幅は、視聴者のネットワークが 3G、Wi-Fi、または有線
環境に応じて自動的に調整されますが、通信環境により音声・画像の質が影響します。

できる限り有線 LAN を準備してください。

受講に推奨される帯域幅 :

- 講義編 : 50-150kbps (下り)
- 実践編 : 3.8Mbps/3.0Mbps (上り/下り)

【参考】通信速度の確認方法

研修を開催する時間帯に合わせて、通信環境の計測サイトで実計測してみてください。

(参考サイト)「インターネット回線の速度テスト Fast.com」 <https://fast.com/ja/>

6 その他

研修当日 (1 日目及び 3 日目) の Zoom ミーティング ID 等につきましては、受講決定
時に別途御案内いたします。